

ルビゴール

RUBIGOAL

一般名称	腐食電流抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料													
適用規格	—													
系統	2液形水性エポキシ樹脂塗料													
主な用途	【電力・プラント用】（塗替え塗装用）			など										
適用素材	<table border="1"><thead><tr><th>鉄</th><th>亜鉛めっき</th><th>アルミ</th><th>ステンレス</th><th>コンクリート</th></tr></thead><tbody><tr><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr></tbody></table>	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	○	×	×	×	×	※黒皮には塗装できません		
鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート										
○	×	×	×	×										
特長	1) NETIS登録製品である。(No.KK-220040-A) 2) 錆残存面に塗装することで腐食電流を抑制し錆の進行を防ぐ。 3) 錆残存面への浸透性が良く、強固に密着する。 4) 環境要因からの遮断性が高く、優れた防食性を発揮する。 5) 水性塗料でVOCの発生も低減でき、環境に優しい。 6) 主剤、硬化剤ともに非危険物である。													
塗料性状	塗料密度(比重)	1.26(グレー)												
	溶剤密度(比重)	1.00												
	加熱残分	50%												
法令など		ベース	硬化剤											
	劇物表示 (品名・含有率)	—	—											
	労安法上の 表示有害物	ブチルセロソルブ	—											
	使用有機 溶剤種別	—	—											
	消防法による 危険物区分	非危険物	非危険物											
	硬化剤の成分 による区分	—												
	ホルムアルデヒド 放散等級	—												
製品情報		ベース	硬化剤											
	荷姿	16kgセット 4kgセット	14.5kg 3.63kg	1.5kg 0.37kg										
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤= 10:1												
	主な色(色相)	グレー(N7.0近似 青味)												
		※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。												
素地調整	○層状錆は除去し、錆の厚みを100μm以下とする。 ○塩分や汚れ、油脂分等は完全に除去する。 ○脆弱な旧塗膜は完全に除去し、旧塗膜表層は目粗し、洗浄、脱脂を行う。 ○詳細は取扱説明書、塗装仕様書をご参照ください。													
使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合し、下記の希釈剤を規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。												
	熟成時間	不要												
	使用シンナー	水道水 ※塗装具などの洗浄には、「水性テクトセーフティ洗浄剤」を推奨します。												
	希釈率(重量比)	ハケ・ローラー: 0~3wt% 先行塗り: 10~15wt%												
	エアレススプレー 塗装条件	—												

ルビゴール

RUBIGOAL

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	-	-	-
ハケ・ローラー塗り	60	175	260

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使用時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	5時間	2時間	1時間	30分	30分	
	半硬化	7時間	4時間	3時間	2時間	2時間	
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	16時間	16時間	12時間	12時間	
	最長	7日	7日	7日	7日	7日	
可使用時間		6時間	4時間	4時間	3時間	2時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤: - 弱溶剤: - ハイソリット: - 水性: -
主な適用 上塗塗料	強溶剤: - 弱溶剤: ルビゴールG、ユニテクト20セーフティ、ユニテクト30SFなど ハイソリット: - 水性: -

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	39.1	2.6
	3	37.7	2.7

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

- 使用上の
注意事項
- 作業環境の気温が5℃以下の場合、塗装しないでください。
 - 錆残存部に塗装する際、先行塗りを行ってください。先行塗りは10~15%程度希釈した塗料を用いてください。先行塗り塗装後、次工程の全面塗りまでの塗装間隔については、取り扱い説明書を参照し、塗装してください。
 - 黒皮面、亜鉛めっき面や非鉄金属面には塗装できません。塩ビ鋼板にも適用できません。
 - タンク内面等の常時接液部、没水部への適用は避けてください。
 - 気温5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でない場合は塗装を避けてください。
 - 塗装後3時間以内に降雨・降雪のおそれがある場合や強風時は塗装を避けてください。
 - 獣毛刷毛を使用すると刷毛が固まったり塗料がタマになりやすいので、化繊刷毛をご使用ください。
 - 希釈や洗浄は常に新鮮な上水を用いてください。塗装用具の洗浄で塗料が落ちにくい場合は「水性テクトセーフティ洗浄剤」を推奨します。また、反応硬化タイプですので必ずその日のうちに洗浄を終えてください。
 - 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いってください。
 - 本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
 - 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDSを参照してください。
 - 取扱い説明書の記載項目に従い塗装してください。
 - 詰め替えの際は清浄な容器に必ず移し替えてください。